

# 真行草

平成24年度

10月発行

第5号

毎年1回発行

編集・発行 浜松医科大学弓道部OB・OG係 hamai\_kyudo\_ob@yahoo.co.jp

浜松医科大学弓道部 ホームページアドレス

<http://kyudohamai.sakura.ne.jp/>

## 浜医弓道部、大躍進！！



平成23年11月20日(上)、平成24年7月1日(下) ともに愛知県津島市錬成館にて

「ただひたすらに たのくさをとる」

弓道部顧問 佐藤 清昭先生

OB・OG の皆さん、こんにちは。また1年が経ちました。個々に見てみれば、喜んだり、悲しがったり、苦しみ抜いたり、いろいろあるわけですが、それでもアツと言う間に時間は過ぎてゆき、気がつけば、また OB・OG 会誌の原稿の依頼をもらう時期です。

今回は雑用が山積しているということもあり、「皆さん元気ですか？ 私も元気にしています」くらいで終わろうかと思ったのですが、よく考えてみると、こうして顧問として OB・OG 会誌に書かせてもらえる機会もあと僅かとなりました。貴重なものとして、利用させていただこうと思います。

弓道には昔からいろいろな教歌があり、弓のあり方、引き方を歌の形で伝えていきます。たとえば：

巻藁を射さする数は千二千 後に的射る事をしるべし  
昔の弓道は巻藁で1年くらい練習した後はじめの的に向かって射ることを許したそうです。この歌は、的前に比較的早く立たせる現代弓道には耳に痛く響きます。

いろいろある教歌の中でも、私は次の歌が好きです：

この秋は雨か嵐か知らねども ただひたすらに田の草をとる

これは江戸時代後期の農政家であり、思想家であった二宮尊徳の歌を元にしたものです（尊徳の歌では後半が「今日のつとめの田草とるなり」となっている）。意味は、今は初夏で夏草がはびこる時期である、数ヶ月後、稲が実り、それを刈る時には雨が降ったり嵐が来たりしているかもしれない、しかしそれを今からあれこれ心配しても始まらない、今はただ目の前にある草をとることに集中するのである、ということです。つまり結果をあ

あだこうだと心配するあまり、今、目の前にあることがおろそかになってはいけない、眼前のものをこそ一つ一つ大切にしてください、と教えています。

これを弓道に当てはめれば、弓に番えたこの矢が的に当たるかどうかは今から心を悩ませて始まらない、そうではなく、その時その時にやるべきこと、すなわち足踏み、胴造り、弓構え、打起し、引分けなどをひとつひとつ大事にしてください、確実にこなしていきなさい、という教えになります。

そしてこれを弓から離れて一般に当てはめれば、どうしても「先へ先へ」と考えてしまう現代の世の中ですが、やはり今、目の前にあることに集中する、今なすべきことに全力を尽くすことが大事であり、それが結局はいい結果に通じる、ということになるのでしょうか。禅の方には「脚下を照顧せよ」（足元を明るくして確認せよ）という言葉があります。「田の草をとる」とは、それにも通じる考え方です。

最後になりましたが、皆さんの引き続きの活躍をお祈りします。

---

「浜松医科大学弓道部に（私的に）思うこと」

聖隷三方原病院リハビリテーション科部長

OB・OG 会会長 片桐 伯真先輩(平成4年卒)

まずは学生諸氏による西医体・全医体でのご活躍の中、優秀な成績を残されましたことをお慶び申し上げます。創設当初では想像できない快挙であり、浜松医科大学の部活動の中ではまだ歴史は長くないにも関わらず、このような伝統を作り挙げてこられた OB/OG ならびに現役学生の方々のご努力に、創部に携わった OB/OG 会の一員と

して誇りに思っております。またこの良き伝統が更に確固たるものとなることを祈念申し上げます。

さて、皆さんは弓道部が設立される経緯をご存じでしょうか？ 今回少々私的な内容となりますが、その始まりのきっかけについて、ある人への追悼の意を込めて、私自身の個人史を紐解いてみます。

それは私と顧問の佐藤先生との講義室以外での出会いに始まります。私が大学生になりたての頃、当時は鹿谷町にあった道場で開催されていた浜松市主催の弓道教室に参加したことから始まります。私はそれまで弓に触れたこともなく、そこでカケのつけ方をはじめ1から習うことになりました。その場に一緒に佐藤先生が受講されていなかったら、おそらく私自身だけで大学に弓道部を設立し、道場を作るなどということは無かったと思います。この出会いの瞬間から、佐藤先生の強い思いも後押しして、また興味を持った初期のメンバーの協力もあって、学内での同好会設立に向けて動き出す事になりました。学生時代の大切な仲間との出会いになりました。

では、なぜ弓道教室に私自身が参加することになったか？という点を掘り下げてみたいと思います。ここからは完全に私的な内容なので、ご興味ない方は飛ばし読みしていただいても結構です。

私が弓道を始めるきっかけは、私の父の存在です。一部の方々をご存じでしょうが、私の父は静岡大学で応用化学を研究・教育していましたが、その傍ら当時の静岡大学工学部弓道部の顧問もしておりました。父自身も顧問を受けた当初は全くの素人でしたが、弓道教室に通うことでそのおもしろさを実感し、のめり込んでいきました。その中で私が大学入学したのを契機に、医師という仕事に弓道が役立つ？といった持論と弓道の持つ魅力を訴えかけ、弓道の道に引きずり込まれました（残念ながら

ら医師になってから私自身弓を引く機会には恵まれませんでした（…）。またその縁で、浜松医大弓道部発足後は工学部の弓道場利用についても許可いただき、百射会の場などから対外的な交流の機会に繋がったことは、その当時一緒にやっていたOB/OGの方々は思い出のひとつになっていることでしょう。

今回この話題を取り上げたのは、本年3月5日にその父（片桐孝夫）が逝去したことにあります。父は定年後も弓道がやりたくて、静岡県代表としてねりんピックに参加し、腰や膝を痛めても、そのたびに手術を受け、再び道場に立っては弓を引いていました。年をとってからも生き甲斐として弓道に励む姿は、私の老後の理想型にも見えました。しかしその元気さも昨年初夏に発見された肺癌（既に癌性胸膜炎を併発したStageIVの腺癌）を克服することはできませんでした。若かりし頃の喫煙や化学物質を扱う職場で肺を痛め、更に以前より腎機能の悪い状況では抗癌剤も使えず、今の医学では救う術がなく、今年2月には状態が悪化し、ホスピスで最期を看取ることとなりました。今回のことは、医療従事者として、また一人の人間として、「memento mori」という言葉の意味を改めて考えるきっかけとなりました。なお、本来ならば関係者にはいち早くお伝えしなければならぬ事でしたが、父の希望により、私の口からの事実の公表は控えてきた経緯がある点をご容赦下さい。

時間は確実に進み、時代と共に新たな出会い、役割の遂行、そして別れが来ます。どんなに「もたれ」ていても、いつかは矢が射られ、その結果に直面します。言い訳を言っても、その射の結果は残りますし、良い射は次への自信につながります。これから皆様も様々な機会ですら行動し、結果を目の当たりにすることでしょう。与えられた時間は限られ、その時間を巻き戻す事ができな

い以上、是非その一瞬一瞬を大切にしてください。努力して行動した事は、必ず何らかの結果につながります。そしてその結果に甘んじること無く、新たな気持ちで次の矢（行動）を射る気持ちを、普段から思い出してみてください。これから色々な人との出会いがあると思います。今回の私の経験のように、その出会いが人生や、もしかすると社会をも変えるかもしれません。是非これからも、出会いを大切にしてください。

---

「個人として・組織としての成長」

浜松医科大学附属病院 看護部 5階西病棟

清水 翔太郎先輩(平成22年卒)

全医体に限らず数々の公式戦でのタイトル獲得。間違いなく浜松医大弓道部史上、最高の戦績でしょう。弓道部OBとして素直に嬉しく思う気持ちと共に、学生時代に必死で弓を引いていた自分が顔を出し、少し嫉妬にも似た感情を抱いています(苦笑)。

輝かしい戦績の中でも、個人的に特に印象深かったタイトルは『東国体優勝』です。

東国体といえば、自分が入学した時には「参加することに意義がある試合」という位置付けでした。全学の猛者達を相手に、トーナメントという非情な形式（男子の場合）で戦わなければいけない。1回戦敗退が当然で、閉会式には出席せずに帰る、というのが半分ネタとなっていました。

それが、自分が2年生の時に初の初戦突破。最終学年の4年生では初の団体準優勝を掴み取りました。部活で泣いたのはこの試合が最初で最後。昔話で申し訳ないですが、これが個人的に一番熱く・思い出深い試合なのです。

そんな私の思い出をあっさりと塗り替えた「優勝」。実際に観戦していましたが見事なものであり感無量でした。後輩達の実力も然ることながら、昔を思い出して『浜医弓道部』自体が確実に大きく・強く成長していると感じたのです。

話は変わりますが、先日部活の幹部交代コンパに出席させて頂きました。顔も知らない新入生が増えて戸惑う自分に、温かく接してくれてありがたい限りです。

今回引退した幹部学年は自分が4年生の時の新入生。あのヤンチャ坊主達が立派に挨拶しており、なんだか感心してしまいました。そして一丁前に後輩への不安・心配をボヤいており、妙に聞いたことのある内容だと思っていたら、自分の同学達が幹部を引退する時に、同じ様な事をボヤいていたのを思い出しました(笑)。当然自分たちの世代も、先輩達に同じようなことを言われていたのでしょうか。そのような歴史の繰り返し(円)の中で人は成長していくのだなど、しみじみと感じました。

1人の人間がある程度成長するだけなら、先人の軌跡を辿るだけで良いかもしれません。しかし「組織」として成長するためには、同じ「円」を描きながらも「螺旋」のように、常に上を目指して新たな道を描くべきです。今の強い浜医弓道部があるのも、歴代の主将を中心とした幹部学年が、『より良い部活』を目指して様々な事に挑戦してきた軌跡の積み重ねだと思っています。

現在私が所属している病棟も『PNS (Partner Nursing System)』という大きな業務改革にスタッフ全員で取り組んでいます。何十年も続いてきた業務体制を根本から変えてしまっているので、まだまだスタッフも戸惑いを隠せませんが、Dr.の協力も得ながら『より良い看護』を目指して『組織』として頑張っています。最終的に成功といえる結果になるかはわかりません。しかし目標に向か

って皆で意見を出し合い、行動していくことは非常に心地良く・充実感に溢れています。

浜医弓道部はいよいよ大所帯となり、全員をまとめる幹部学年の負担は計り知れないでしょう。しかしルーチンの様々な雑務に追われる中でも、何か部活を1つステップアップさせるような新しい取組みで、自分たちの爪痕を残して欲しいと思います。たとえそれが良い結果に繋がらなくても、自分達にとっても・部活にとっても「良い経験」になることは間違いありません。そして経験は成長に繋がります。

偉そうなことを言っていますが、実際自分自身に言い聞かせていることでもあります。流されるのは簡単です。保守的に物事を進めるのも簡単です。しかしそこに成長はありません。「敵在我心」、「向上無限」。弓道を始めて出会った言葉であり、ふと思い出しては自分に喝を入れる言葉です。

長くなってしまいました。これからも浜松医大弓道部の更なる成長を願って止みません。今後も嬉しい内容のOB・OGメーリスを待っています。それでは。



西医体にて、納射

前主将挨拶

第24代主将 桐戸 雄紀(医学科4年)

秋色もようよう濃くなって参りました。OB・OGの皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

前回のOB・OG会報誌をお送りしてから早くも一年が過ぎましたが、その間我らが浜医弓道部は華々しいと言っても過言ではない活躍をして参りました。東海医歯薬男女団体戦優勝にはじまり、東国体男子団体戦優勝・女子団体戦第三位、中部ブロック男女団体戦優勝、西医体男子団体戦優勝・女子団体戦準優勝、全医体団体戦優勝。これらたくさんのタイトルを勝ち得たことを、本当に誇りに思います。

なぜここまでの結果を残すことができたのかと言えば、一つは多くの選手たちが弓道に対して、部活に対してストイックな姿勢を貫いてきたためだと思います。また、時の運に恵まれたものだとも感じます。しかし、勝因はそれだけでしょうか。

主将を務めさせていただいた一年間で、私は「受け継ぐことの大切さと難しさ」を実感しました。後輩たちの弓道・部活に対する意識や実力を養うには、上級生の態度や教育水準の向上が求められます。そういった点から、「今、強い浜医」をつくり上げたのは今の部員だけではなく、私たちを育ててくださった先輩方、礎を築いてくださった先輩方のおかげでもあると心から思っております。またそれだけでなく、OB・OGの皆様からは、ご卒業後もなお細やかなご配慮をいただいております。この一年の間にも本当に温かいお心づかいをいただき、何とお礼を申し上げてよいのか、感謝の言葉もありません。

私は「本当に強い」部活というのは「今強い」だけでなく「これからも強くあることができる」部活であると考えています。そのような部活をつくることが私のひとつの目標でした。この目標がどれほど達成されたかを評することができるのはまだ少し先になってしまいますが、主将として至らないと痛感する点多々ございました。そういうわけで弓道部の行く末もある意味では自分の実力の現れであり、また責任を持つべきことと考え、これからも引退部員として自分なりの形で部に貢献していく所存です。

さて、これからは新主将である中井省吾がこの浜医弓道部の少々重い舵を取っていきます。幸いなことに、彼の弓道に対する真摯さや部員から寄せられる信頼は申し分のないものでございます。彼のもとで部員一同ますます精進して参りますので、今後とも変わらぬご厚誼のほど、心よりお願い申し上げます。

以上、略儀ながら前主将挨拶とさせていただきます。末筆になりましたが、OB・OGの皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

---

#### 新主将挨拶

第25代主将 中井 省吾(医学科3年)

秋冷のみぎり、OB・OG会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。浜松医科大学弓道部に平素より多大なるご支援をいただき、大変感謝しております。

10月から1年間、主将を務めさせて頂くことになりました、医学科3年生の中井省吾と申します。OB・OGの皆様が築き上げてこられた長い歴史を持った部活の主将をさせて頂くことに、大変身の引き締まる思いでおります。

現在の弓道部ですが、多くの部員が日ごろから切磋琢磨しており、様々な大会で団体・個人とも優勝・入賞を果たすなど、大躍進を遂げております。これらは、部員の努力に加え、OB・OGの皆様の皆様のご支援のおかげだと思っております。この場を借りて、皆様に心から御礼申し上げます。

さて、私が主将として果たさないといけない役目は、浜松医科大学弓道部の弓道の水準をより高めていくよう努力を怠らないことに加え、部員一人一人が部活における自分の価値を見だし、それぞれが楽しく充実した生活を送ることのできるよう、部の環境をより良いものにしていくことだと考えております。現在の浜松医科大学における生活において、人によって程度の違いはありますが、部活の占める比重は大きなものとなっています。ですから、私は部員が部に居場所を感じられるようになることは、実りのある大学生活を送ることにつながると考えております。加えて、部員の帰属意識を高めることは、より強い団結力を生み、試合の結果につながっていくのではないかと、とも思う次第です。愚見ではございますが、このように部活の環境をより向上させていくために、一人一人の部員に対して部活における自分の大切さと行動の責任の重さを認識させて頂きたいと思っております。

現在の弓道部の雰囲気は大変良く、他部活にも評判な程でございます。そのため、多くの部員が強制的にではなく、自ら積極的に道場に通い、楽しく練習を積むことができっております。この雰囲気は、在校生のみで作り上げてきたものではなく、OB・OGの皆様の思い、尊慮が息づいているということを実感しております。卒業された後も、弓道部を気にかけてくださる先輩方も多く、大変心強く存じ上げております。OB・OGの皆様にこれから

も多くの良い報告ができるよう、部員一同一丸となって精進して参ります。

乱筆悪文のため、お見苦しい点多いかと存じますが、よろしくご判読のほど願ひ上げます。これからもご指導賜りたく願ひ申し上げます。天高く馬肥ゆるの候、ご自愛専一に、益々ご活躍ください。

#### 副将挨拶

東 夏美(医学科3年)

清秋の候、OB・OGの皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。10月から副将を務めさせていただきます、医学科3年生の東夏美と申します。OB・OGの皆さまには、折々に触れ過分なご支援をいただきましたこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。おかげさまで、年々大所帯になっていく中でも、弓道部員一同、練習に精進することができ、今年度は各種大会で好成績を収めることができました。これもひとえに皆様方のお力添えのおかげと感謝いたしております。

歴史ある副将の任をこの私が引き継がせていただくことに、大きな責任を感じております。不安もありますが、主将と協力し、皆様方のご期待に沿うべく一層精励し、弓道に打ち込み、弓道部の更なる発展に少しでも貢献できればと思っております。特に、近年では女子部員の数が大幅に増え、試合でも活躍する姿がみられるようになってきました。私の副将としての務めの一つは、女子部員の心を一つにまとめ、強い団結力を持って邁進できるよう働きかけていくことと思っております。先輩方が長年に渡って築き上げてこられた弓道部の伝統を守り、弓道が好きだという気持ちを大切に、微力ながら自分らしく務めさせていただく所存です。

未熟者で、至らぬ点多々あることと思いますが、今後ともOB・OGの皆様方のご指導ご鞭撻、そしてご協力の程よろしく願ひ申し上げます。

末筆となりましたが、皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

#### 看護科主務挨拶

藤井 里奈(看護科2年)

秋風が心地よく身にしみるこの頃、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別にご支援を賜り、心より御礼申し上げます。10月より、看護科主務を務めさせていただくことになりました、藤井里奈と申します。

今年は看護科より初心者2名、経験者2名の計4名が入部しました。西看大では残念ながら団体戦、個人戦ともに良い結果を残すことが出来ず、悔しい思いをしましたが、この思いを忘れることなく日々練習に励んでいきたいと思ひます。

先輩方が築き上げて下さった、この素晴らしい部活を、長年の伝統を、受け継ぎ、看護科主務の名に恥じることはないよう、より一層精進して参りたいと思ひます。何かと至らぬ点多くご迷惑をおかけ致しますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしく願ひ申し上げます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



医大祭にて、  
模擬店(射的)

平成23・24年卒業のOBOGの方々からご寄稿を頂きました！

社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷三方原病院

生駒 剛典先輩(平成23年卒)

卒業生の皆様、在学中より大変お世話になっております。現在初期研修医2年目ですが、あと半年で初期研修終了と思うと、少々の焦りを感じる今日この頃です。

さて、主將在任中にはOB会の創設、部内の新制度の導入等「新しい事」に挑戦し、ご迷惑をおかけしました。この性は相変わらずのようで、今は「聖隷三方原らしい初期研修制度」を作るために事務スタッフと協力しながら奔走しています。上級医にかけあったり、研修医の意思統一をしたりと大変な事は多いですが、こうしてチャレンジできるのは皆様に支えて頂きながら試行錯誤した在学時の経験があるからだと思っています。これからも浜松医大弓道部は部員1人1人の挑戦を大切に、西日本の医学部弓道部を引っ張る存在であって欲しいと思います。

最後に私事ですが、この度浜松医科大学第3内科循環器グループに入局させて頂く運びとなりました。今後とも御指導・御鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



新歓遠足の様子

「お互いを気にし合える心をもつこと」

浜松医科大学付属病院

石川 紗知子先輩(平成24年卒)

08学年看護学科卒業生の石川紗知子です。現在は、浜松医科大学病院で看護師として働いています。入職してから半年が過ぎましたが、やっと周囲のことにも目が行き、気付けるようになったばかりです。先輩方にどれだけ気にかけていただいていたか、助けられていたか、また同期同士でも支えあっていて助けになっているなど、実感している今日この頃です。おかげさまで、大変で落ち込むことがありながらも、楽しく仕事をしています。

そこでふと思いましたのは、この今私が実感している状況は、部活の中でも常に存在していたなということです。浜医弓道部は学年の壁を感じさせない仲の良さがあります。それは先輩方が常に後輩のことを気にかけてくれるからこそ、作り出すことができる雰囲気なのではないかと思います。その雰囲気がベースとなっているからこそ、団体戦で他学年が混ざり合ったチームでも、信頼し合うことができ統一感のある緊張感の中で弓を引き、結果優勝を成し得ることができているのではないかな、と思います。今シーズン優勝ラッシュが続いたのも、今まで先輩方が築き上げてきたものがあり、それを後輩が引き継ぎ成長させているからこそ結果だと思います。その心は部活だけでなく、社会に出た後も必要とされると感じます。

今後も現役部員の方々が、いい部活の雰囲気を引き継いでいてくれることでしょう。ちょくちょく道場にお邪魔して今も弓を引かせていただいています。暖かく迎えてくれる部員の方々に感謝しています。今後の弓道部の活躍に期待しています。

静岡県立総合病院

坂本 大地先輩(平成24年卒)

2012年卒業、現在静岡県立総合病院で研修中の坂本大地です。

思えば長かった学生生活も終わってしまい、OBとなりました。第一回のOB・OG総会を企画した頃を思い出します。OB・OGの皆様、これからもよろしくお願い致します。

とは言え、「先生」と呼ばれて違和感なく振り返れるように頑張らなければという、まだまだの毎日であります。

弓道部と聞いて思い出すのは、何と言っても先日の「全医体優勝」です。全医体に限らず、シーズン通しての素晴らしい成績、本当におめでとうございます。全医体の最終立を観戦しましたが、優勝できるかどうかの接戦状態での選手、応援のみんなの真剣さ、必死さには胸が熱くなるものがありました。卒業してもこんな風に一緒に熱くなって喜ぶことができたのは本当に嬉しかったです。

なかなか弓を引けるような毎日ではないですが、弓道部で得たものはすごく大きいです。機会を見つけて、弓道部と交流を持つことができれば、一緒に喜んだり楽しんだり、またご指導頂ければと思っています。改めてこれからもよろしくお願い致します。

静岡県立総合病院

鈴木 利章先輩(平成24年卒)

浜松医科大学弓道部の皆様、OB・OGの皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成24年卒の鈴木利章と申します。

卒業してからは外から部活を見守る立場となりましたが、この半年間、弓道部は快進撃を続け、後輩が報告のメール

を送ってくれる度にこちらも胸を躍らせていました。居ても立ってもいられず、夏休みを利用して岡山の西医体へ。半年ぶりに見る後輩の射は驚くばかりに成長していて、射型も的中も優勝にふさわしいものだったと思います。さらに今年は、全医体も優勝するという史上初の快挙も成し遂げてくれました。

後輩の頑張っている姿を見て、無性に弓が引きたくなり、先日半年ぶりに弓を引いてみました。当然思うようには引けず衰えを実感しましたが、部活にすべてを懸けていた頃を思い出して非常に懐かしい気持ちになりました。今後も暇を見つけて道場に顔を出して、あわよくば部内試合などにも参加できればと思っています。



鈴木利章先輩、大学生最後の公式戦にて

※今年度は、平成23年並びに平成24年卒業生から有志によるご寄稿を賜りました。お忙しい中、誠にありがとうございました。来年度は平成25年度卒業生による寄稿を予定しておりますが、そのほかにも皆様からの多くのご寄稿をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 近況報告

<最近の弓道部の様子と、部員からの一言を掲載します。>

10月 医大祭



11月 しゃちほこ杯



11月 東海医歯薬



12月 冬のうなぎ杯



私自身、主将を交代したのがついこの間のように感じているのですが、早いもので、もう次の幹部交代が行われようとしています。桐戸はクールでシュールな主将として部をまとめていました。中井は桐戸とは違ったやり方で引っ張って行ってくれると思います。中井は3年生にして流した汗の量は半端なものではないですから。

先輩方、どうぞこれからも弓道部を応援よろしく申し上げます。

医学科5年 篠原 慧

一年生のときにはわからなかった弓道の辛さというものが、二年生になってやっと経験できたような気がします。こんな未熟な私でも弓道をしていただけるのは、弓道部の雰囲気の良いのおかげであるということも改めて実感しました。入部して以来、大会や行事を重ねる度にますます弓道部が好きになっていきます。

医学科2年 河上 明日香

入部して4年目となりましたが、私にとって弓道部は大きな拠り所となっています。長い付き合いを通して、適切な選択を手助けしてくれる同学や先輩方に支えられ、たくさん遊んでくれる可愛い後輩たちにも恵まれて、本当に感謝しています。このような弓道部を築いて下さった、OB・OGの先輩方、ありがとうございます。

医学科4年 柴崎 久美子

今年度もあっという間に前半が終了しました。たくさんの1年生も加わり、仲良く活動しています。前期の弓道部での一番の思い出は西看大です。看護科の皆の色々な一面を知ることが出来てとても楽しかったです。ちなみに去年に引き続き風雨の中の大会となり、一時は雷も鳴りました。来年は晴天が良いなと思います。

看護科2年 渥美 友里

12月 合宿



1月 三十三間堂



入部して半年弱経って感じる浜医弓道部の良いところは、「オンオフ」がはっきりしていることです。部活動や自主練に真剣に取り組み、一方で飲み会や遊びを思いっきり楽しむ。だから部員の仲が良いのだと思います。将来の後輩達にも「弓道部に入ってよかった!」と思ってもらえるように、私も雰囲気大切に活動していこうと思います。

医学科1年 久保田 紗英

多くのOB・OGの方にとって初めまして、となると思います。弓道部3年目、現在2年生の佐々木駿です(入学年度は10ですが、現在は11と仲良くさせていただいております)。今年度の弓道部には新入部員が17名入りました。4月当初は新入部員という少し壁のある存在であったのですが、今や弓道部員として馴染んでいるのを実感します。

医学科2年 佐々木 駿

弓道部に入部してから1年と少し、ほとんど毎日のように道場に通うようになりました。夕方道場に行くと、いつも必ず的に矢が当たる音が聞こえ、道場までの長い階段を駆け上ると、先輩・後輩・同学が迎えてくれて、まるで家に帰ってきたかのように感じます。浜医弓道部は、先輩後輩問わず仲が良く、部員同士の間の絆が深い部活だと思います。この恵まれた環境の中で、助け合いながら、これからも弓道を頑張りたいと思っています。

医学科2年 千森 瑛子

☆3月には医学科7人、看護科2人の先輩方のご卒業されました。

☆4月には1年生が16人、看護科編入の3年生が1人と多くの新入生を迎え、弓道部はこれまで以上に大きな団体となりました。

4月 新歓コンパ



4月 新歓遠足



3月 卒業式



3月 追い出しコンパ



3月 メモリーカップ

1月 グラスカップ



3月 春季県下



4月 静岡理工科大学交流戦



6月 夏のうなぎ杯



6月 東国体



7月 中部ブロック



7月 夏季県下



いつも拙いメーリスを流させていただいております。

今年は、全体を通して大会の成績がよかったので主観的にも客観的にも、なかなかいい部活だったのではと思います。来年以降も今まで通り、たとえ成績が悪くとも雰囲気の良い部活としてやっていけるように、引退生として雰囲気作りを頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

医学科4年 齊藤 慈円

去年に引き続き、今年度も多くの1年生が入部して、さらに部活が活気にあふれるようになりました。日々の練習も夜遅くまで行うなど、弓道に対して部全体がとても真剣に取り組んでいると感じます。看護科の人数もだんだんと増えてきているので、今後とも医学科と協力し、更に部活を盛り上げていってほしいと思います。

看護科4年 片山 舞子

OB・OGの皆様、日頃より多大なご援助を賜り本当にありがとうございます。今シーズンは間違いなく浜医弓道部史上最強の年でした。自分自身あまり活躍できませんでしたが、中部ブロック、東国体、西医体、全医体と団体で引かせてもらいました。これからは、後輩からの結果報告を楽しみに待ちたいと思います。とりあえず国試頑張るぞ…

医学科6年 山本 琢己

☆今年度の東国体では主管校を務めました。部員全体で団結して運営を行い、男子団体優勝などの輝かしい成績も残すことができました。

7月 山梨大学交流戦



7月 バーベキュー



失礼ながら私には名前と顔が一致するOB・OGの方は多くはありません。しかし、道場に数ある弓具や、浜医弓道部の礎、部活の費用など、認識のない私たち後輩のために残して頂いたもの、また、今なお援助して頂いていることには感謝の限りです。お陰様で毎日楽しく弓道に取り組むことができ、充実した弓道ライフを送っています。本当にありがとうございます。

医学科2年 中村 尚紀

最近の弓道部はいろいろな意味で「変わった」と思います。試合結果を見るだけでもわかるように、成績がとても伸びました。また部員数も増えたことで、ずいぶん賑やかになった気がします。しかし、変化とは常にいい方向に進むわけではありません。幹部学年になると共に、弓道部をより良い方向に変えていけるよう精進します。

医学科3年 伊藤 将一郎

先輩後輩の仲が良いのが、浜松医科大学弓道部の良いところだと思います。弓道初心者でも先輩方に丁寧に指導して頂けるので、安心して弓道を始められました。また、医学科は全医体など、様々な大会で優勝するなど、素晴らしい活躍をしています。看護科も西看大で活躍して行けるよう、頑張っていきたいです。

看護科1年 吉竹 唯乃

とうとう引退することになりました。現役生活は長いようで、とても短かったような気がしています。これからは、引退生として弓道部に少しでも関わっていけたらいいなと思っています。また、実習先で弓道部のOB・OGの方々にお会いできるのを楽しみに、実習に向けて頑張りたいと思います。

看護科3年 宮平 結里菜

10月 三校戦



9月 幹部交代コンパ



8月 全医体(下2校)



8月 西医体



8月 西看大



☆今年度の西医体は岡山県桃太郎アリーナで、西看大は滋賀県立武道館で行われました。西医体では男子団体優勝、女子団体準優勝と優秀な成績を残すことができ、石川県立武道館で行われた全医体では団体戦優勝を飾ることができました！

## — 試合結果 —

### 東海医歯薬学生弓道大会 (11. 11. 19~20)

男子団体 優勝  
女子団体A 優勝  
女子団体B 準優勝

#### 【男子個人戦】

山田 裕 (医学科2年) 準優勝  
夏目 貴史 (医学科3年) 第3位  
中井 省吾 (医学科2年) 第4位

#### 【女子個人戦】

伊藤 夕貴 (看護科4年) 第6位

#### 【男子優秀射技賞】

中井 省吾 (医学科2年)

### 静岡県下学生弓道大会春季大会 (12. 3. 11)

男子団体A 第3位  
女子団体G 優勝

#### 【男子個人戦】

乾 航 (医学科3年) 準優勝  
夏目 貴史 (医学科3年) 第4位

#### 【女子個人戦】

石川 紗知子 (看護科4年) 第3位  
鈴木 藍 (看護科3年) 第5位

### 東海地区国立大学体育大会 (12. 6. 23~24)

男子団体 優勝  
女子団体 第3位

#### 【男子個人戦】

村井 雄紀 (医学科2年) 優勝  
中井 省吾 (医学科3年) 準優勝

#### 【女子個人戦】

依田 在理 (医学科4年) 準優勝

#### 【連中賞】

中井 省吾 (医学科3年) 15連中  
乾 航 (医学科4年) 14連中

### 中部ブロック医科学生弓道大会 (12. 6. 30~ 7. 1)

男子団体 優勝  
女子団体A 優勝

#### 【男子個人戦】

中井 省吾 (医学科3年) 優勝  
山本 琢己 (医学科6年) 第4位  
村井 雄紀 (医学科2年) 第5位  
武田 昌大 (医学科2年) 第6位

#### 【女子個人戦】

鈴木 未菜 (看護科1年) 優勝  
佐々木 うらら (医学科3年) 第3位

#### 【男子最優秀射技賞】

村井 雄紀 (医学科2年)

### 静岡県下学生弓道大会夏季大会 (12. 7. 7)

男子団体A 優勝  
男子団体B 第3位  
女子団体A 準優勝  
女子団体C 第3位

#### 【男子個人戦】

飯田 雅博 (医学科4年) 第5位

#### 【女子個人戦】

宮平 結里菜 (看護科3年) 優勝  
河上 明日香 (医学科2年) 第3位  
依田 在理 (医学科4年) 第5位



東国体にて、選手宣誓

西日本医科学学生体育大会弓道部門 (12. 8. 13~16)

男子団体 優勝

女子団体 準優勝

【男子個人戦】

乾 航 (医学科4年) 準優勝

【男子最優秀射技賞】

齊藤 慈円 (医学科4年)

【女子優秀射技賞】

依田 在理 (医学科4年)

西日本看護学生弓道選手権大会 (12. 8. 17~19)

団体A (60射16中)

団体B (60射20中)

団体C (60射10中)

全日本医科学学生体育大会王座決定戦弓道競技

(12. 8. 25~26)

団体 優勝

【個人戦】

乾 航 (医学科4年) 第3位

中井 省吾 (医学科3年) 第5位

齊藤 慈円 (医学科4年) 第9位



全医体

## 昇段審査結果

3月 西部地区審査 (佐久間)

式段 石川 駿 (医学科1年)

菊池 優志 (医学科1年)

根本 玲那 (医学科1年)

望月 琴美 (医学科1年)

参段 村井 雄紀 (医学科1年)

桐戸 雄紀 (医学科3年)

四段 中井 省吾 (医学科2年)

飯田 雅博 (医学科3年)

5月 中部地区審査 (静岡市・武道館)

式段 野島 悠有 (医学科2年)

四段 依田 在理 (医学科4年)

10月 西部地区審査 (浜松市弓道場)

初段 木根 佑奈 (医学科1年)

久保田 紗英 (医学科1年)

窪田 雄介 (医学科1年)

下村 麻衣子 (医学科1年)

馬場 健 (医学科1年)

藤田 王樹 (医学科1年)

藤田 英彦 (医学科1年)

松村 健太 (医学科1年)

宮崎 悠夏 (医学科1年)

森田 裕子 (医学科1年)

吉竹 唯乃 (看護科1年)

吉本 恭子 (医学科1年)

宮崎 沙弥香 (看護科3年)

参段 佐藤 大輝 (医学科1年)

石川 駿 (医学科2年)

菊池 優志 (医学科2年)

山田 裕 (医学科3年)

乾 航 (医学科4年)

※学年はすべて当時のものを記載しております。

※2012年10月までに現在の1年生が全員初段以上を取得しました！

## 第2回OB・OG懇親会のお知らせ

弓道部顧問、佐藤 清昭先生のご退官に合わせて、第2回OB・OG懇親会を企画したいと考えております。現在、企画段階ではありますが、平成26年の1~2月に予定させていただきますので、ご調整の程よろしくお願ひ申し上げます。また、同日にOB・OGの方と現部員との交流射会も行えたらと思っております。

決まり次第詳細をご連絡いたしますので、前回同様、多くのOB・OGの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## ホームページについて

この会報誌はカラーページも多いため、ホームページにてPDFファイル形式でダウンロードできるように致しました。どうぞご活用ください。

また、昨年10月から、ホームページにおいて試合などの様子を収めたビデオをご覧になれるように致しました。これらは個人情報などを多く含むため、パスワードがかかっております。後日OB・OGメーリングリストにてパスワードを配信させていただきますので、よろしくお願ひいたします。(パスワードは今までと同様ですので、普段ホームページをご覧になっている方は今まで通りご利用いただけます。)

## 会費・決算報告について

OB・OGの皆様にはOB・OG会費納入のご協力をお願いしたいと思います。詳細は別紙をご参照ください。

前年度の決算報告も別紙に記載させていただきました。多くのご援助、誠にありがとうございました。

## OB・OGメーリングリスト

OB・OG係では、試合結果やコンパのご案内をメーリングリストにて配信しております。メーリングリストの登録をされていない方は、村井雄紀までご連絡ください。登録案内のメールを送信させていただきます。

(村井雄紀：[windy-pippi710moru@ezweb.ne.jp](mailto:windy-pippi710moru@ezweb.ne.jp))

## 編集後記

朝夕の寒さが身にしみる季節となっておりますが、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年と同様に、今年も幹部交代に合わせてOB・OG会報誌を発行させていただきますました。

今年現在の弓道部の雰囲気を知っていただきたく、部員の言葉を多く取り入れながら、より親しみやすい会報誌を作ったつもりであります。これによって、現在の弓道部がOB・OGの皆様にとってより身近なものとなりましたら幸いです。

私、村井雄紀がOB・OG係を齊藤 慈円から引き継がせていただきましたが、これからも皆様との繋がりをより一層深めるために邁進して参る所存ですので、本年度も倍旧のご厚情を賜りますよう謹んでお願ひ申し上げます。

OB・OG係

齊藤慈円 千森瑛子

村井雄紀

会報誌係

伊藤将一朗